

兵庫県立

いえしま自然体験センター

令和7年度 学校利用手引き



自然と共に生きる

目次

目次	1
A. 施設の概要	2
B. ご利用基本情報	3
C. 注意事項	6
D. プログラムについて	7
E. 食事について	10
F. 寝具について	11
G. 入浴について	12
H. キャンプファイヤーについて	12
I. センター全体図	13
J. 中央地区全体図	14
k. 平面図	15
L. 交通案内について	18
M. 安全について	21
N. 料金表について	24

必読

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



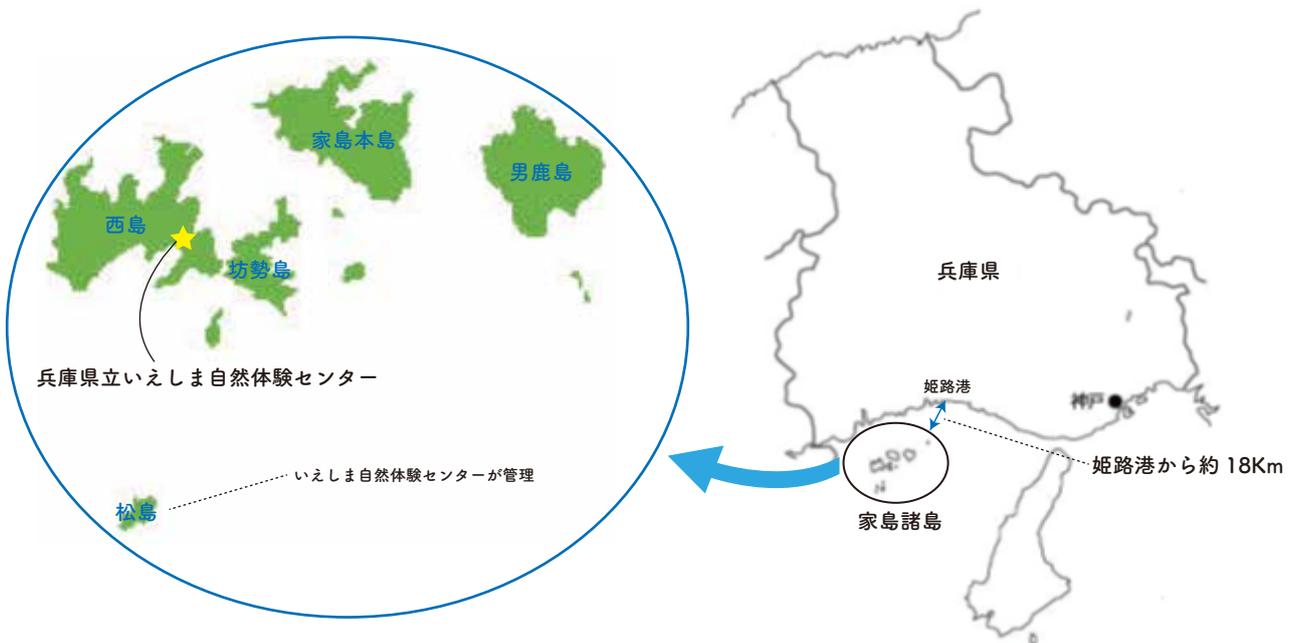
○各活動に表示しているSDGsのアイコンは各活動のねらいの一部と合致するものにひもづけています。

A. 施設の概要

(1) 成り立ち

昭和54年の国連の国際児童年を記念して、南北を海に面する兵庫県の特性を生かし、瀬戸内海国立公園内の家島諸島の西島に、自然の中で親と子が心身ともに健やかに育ち、すべての生命の母である海と人が出会う場として、野外活動施設「兵庫県立母と子の島」が建設されました。

開設以来25年を経過した施設のリニューアルを機会に、「環境学習センター」等を新設し、「海の環境学習の拠点」としての機能を強化しました。小・中学生、高校生、大学生の環境学習・自然体験活動のフィールドとして、社会人の実践研修の場として、また幼児期から家族一緒に楽しむ施設として、平成19年4月に現在の名称である「兵庫県立いえしま自然体験センター」と改めました。



(1) 位置 兵庫県姫路市家島町西島

(2) 敷地	西島(坊勢財産区より)	1,007,027 m ²
	県有地	8,687 m ²
	松島(姫路市・宮財産区より)	332,455 m ²
	計	1,348,169 m ²
		【約135ha】

※甲子園球場のグラウンド130個分の広さに相当

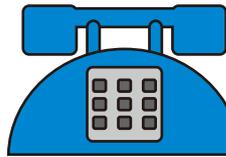
(2) 活動のねらい

- ① 自然界のさまざまな生き物との関わりを通して、生命を大切に作る心を育む
- ② 自然との触れ合いを通して、自然や自然の美しさに感動する素直で柔らかな心を養う
- ③ 仲間との活動などを通して、規範意識や他人を思いやる心、自己抑制力を身につける
- ④ 集団生活やグループ活動を通して、我慢する心(耐性)、自立心、協力する力を養う
- ⑤ 自然環境での活動を通して、健やかな身体と物事を着実にやり抜く意思・主体性を育む

B. ご利用基本情報

○ご予約方法

お電話にて空き状況を確認



いえしま自然体験センター
(079) 327-1508/1509



仮予約

6月						
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	
28	29	30	31			



学校内で日程調整



確定日程をセンターに連絡



※小学校は2年前(年度で) / 中学校は1年前(年度で) から申し込み可能

○下見について

なるべく現地下見の実施をお勧めいたします。

当センター職員が施設内のご案内、プログラムの打ち合わせ、提出書類の確認をさせていただきます。

お電話にて下見のご予約



日時、人数、船便の時間をご連絡ください。
日によっては対応できない場合がございますのでご了承下さい。



下見打ち合わせ表提出

下見打ち合わせ表	
<input type="text"/>	<input type="text"/>
<input type="text"/>	<input type="text"/>

ご案内がスムーズになるので現時点の分かる範囲でお書きください。
ファックスにてご送付ください。



下見当日



日帰り入島料が必要です。

時間の関係で船着き場から管理棟まで送り迎え可能ですが、実施日のことを想定して歩いてみることもお勧めします。

○提出書類について

提出書類はセンターHPよりダウンロードできますので、なるべく提出期限までにご提出ください。

「ダウンロード方法」

WEBで「いえしま自然体験センター」と入力



「利用の手引き」→
「学校利用」を
クリック



「こちらのページ」を
クリック



「学校申請書類一式を」
クリック
ダウンロード



郵送かFAXで
ご送付ください。

パスワード
が必要ですのでお問
い合わせください。

○プログラムの制作について 詳細 P7～9

学校対応の担当職員がしっかりサポートいたしますのでお気軽にご相談ください。

○諸経費の支払いについて

事前・当日・事後払いが可能です。また、先生・生徒・児童・カメラマン・指導補助員など詳細を分けて精算書類を作成可能です。学校事情に詳しい職員が柔軟に対応しますのでご安心ください。

○日帰り利用について ★利用料 P24

日帰り利用の場合、1人につき入島料が必要です。
原則昼食はお弁当を持参してください。

○宿泊利用について ★平面図 P15 ★利用料 P24

宿泊施設は、中央地区 10 人用ロッジ、6 人用ロッジ、7 人用ロッジ、野外活動地区 8 人用テント、4 人用テントとなります。

【Aロッジ(10人用)】…7棟
○収容可能人員
最大 70 人

【Bロッジ(6人用)】…7棟
○収容可能人員
最大 42 人

【Cロッジ(7人用)】…15室
○収容可能人員
最大 105 人

【4人用常設テント】…25張
○収容可能人員
最大 100 人

【8人用常設テント】…7張
○収容可能人員
最大 56 人

★宿泊の場合、別途
シーツリネン費必要

【ロッジ常備品】

冷蔵庫・マット・毛布・枕・安全蚊取り器・掃除機・ほうき・ちりとり・簡易ベッド(A・Bロッジのみ)
茶器セット(児童、生徒の部屋は撤去)・扇風機(夏季)・ファンヒーター(冬季)・こたつ(冬季)
インターホン(事務所と繋がっています。緊急時のみ使用可)・非常灯(鍵に付属)

○船便について ★詳細 P18 ~ 20

センターへは姫路港から船便を利用することになります。めったに船に乗る機会はないと思いますので、是非、乗船体験をお楽しみいただければ幸いです。

しかし、台風接近などで船が欠航になる場合が稀にございますので、そのことを頭に入れて計画を立ててください。天気予報が怪しければ、センターにお気軽にご相談ください。

定期船、チャーター船ともに必ず**予約が必要**です。定期船はセンターに予約。チャーター船は船会社へ直接予約。

○徒歩移動について

センター内の移動は基本的に徒歩移動となります。しんどい、面倒というお声をよく耳にしますが、自分の荷物を持って自分の足で目的地に到達するということは自立心を育てたり、時にはしんどい子の荷物を持ってあげて声を掛け合うことで協力する力を育てたり、達成感を味わったり、自然の中を歩くことのできる大切なプログラムだと考えています。何もかもが便利になる世の中だからこそ、不便を体験させてあげてください。是非、前向きに捉えていただければ幸いです。

センター内は
基本徒歩移動

もちろん
船着き場への
往復路も
徒歩移動

ですが、



歩けない方は
車で送迎
いたします

団体共通利用
の資材のみ
運搬
いたします

時間がないので
日帰りの
学校様限定で
中央地区棧橋
発着 OK!

ご希望の学校様は事前にご連絡ください。

○チェックイン、チェックアウトについて

14 時~
Check in

10 時
Check out

☞チェックインの際にシーツなどの寝具
をオリエンテーションルームでもらってください。
チェックアウトの際に寝具の返却をお願いします。

★詳細 P11

○施設の利用時間について



夜間は管理棟玄関のインターホンを押してください。宿直の職員が対応いたします。
炊飯場は朝早くからご利用いただいても大丈夫です。
センター提供プログラムの開始可能時刻は朝 9 時以降でお願いします。

○食事について ★詳細 P10



☆食堂、野外炊飯が選べます。 ☆必ずお申し込み予約が必要です。 ☆アレルギー対応が可能です。

○販売品について ★詳細 P24

西島にはコンビニなどの商店はありません。センター内では飲み物、クロワッサン、コメ、炭、オガライト（燃料）など必要最小限の物しか販売していません。

○貸出備品について



鍋、網、鉄板などの自炊の調理道具は無料で貸出ししています。お皿、お箸などの食器類は貸出ししていませんのでご持参ください。

無料貸出

無料貸出品を利用してなるべく荷物は少なく。



★自炊用具

鍋・包丁・まな板・ポール・ザル・タワシ類・鉄板・網・段付鍋・やかん・トングなど

★その他

竹竿（仕掛け・餌は購入か持参）・箱眼鏡（アクアスコープ）・スピーカー・マイク・CD デッキ・クラフト用具（小刀・きり）・工具（金槌・ペンチ・のこぎり等）・スコップ・移植ごて・フローティングベスト（海中探検ゾーンでの海中探検のみ）・本・天体望遠鏡・顕微鏡・双眼鏡など 数に限りがございますのでご相談ください。

○持参装備について

※プログラム・活動方針によって異なりますが、参考として以下のような装備が考えられます。

	生活・野外活動	自炊	海での活動
個人装備	着替え・帽子・懐中電灯・軍手・タオル・ティッシュ・水筒・雨具（レインコート）など	自炊用食器（お皿・お箸など）・米（センターでも購入可能）など	海活動用の靴（運動靴でも良い・水着（濡れてもいい服）（磯観察時は軍手・長袖長ズボンのラッシュガードなどの速乾性のよいものが最善。長ズボンがなければハイソックスなどで対応しても怪我が軽減される。）
団体装備	プログラムに必要な資材・洗濯干し用ロープ・ぞうきん・蚊取り線香・お茶の葉（給茶用）など	持込食材・調味料・マッチ・うちわ・ふきん・新聞紙など	

○片付け・清掃について



片付け、清掃も大切なプログラムの一つです。来た時よりも美しくお互いに協力しあって『思いやりのバトン』を次の学校にお渡してください。宿泊研修の最終日には大掃除をお願いします。

【毎日の掃除】

- 食堂→食堂利用後に各団体で行ってください。
掃き掃除、机の拭き掃除など。
- 浴室→浴室を利用された団体は次の日の朝に清掃をしてください
いす・おけの整理・整頓、脱衣場の掃き掃除（電気掃除機をかける）・拭き掃除など

【最終日の大掃除】

使用した場所を人数に応じて手分けして行ってください。人数が少ない場合は無理のない範囲で行ってください。

※学校が複数の場合、団体間相互に分担の割り振りを決めてください。

C. 注意事項



○火気について

- ☆火気の使用場所は野外炊飯場とキャンプファイヤー場のみとなっています。
- ☆花火は禁止です。
- ☆野外炊事後の火はゴミステーション横の灰置き場のペール缶に入れて完全に消火してください。

○釣り・採取について



- ☆周辺の海には漁業権が設定されています。ウニ・サザエ・アワビ・タコ・ナマコ・海藻はとらないでください。
- ☆砂浜・海中探検ゾーンでの釣り、突堤から砂浜に向かっての投げ釣りは危険ですので禁止します。突堤から沖に向かっての投げ釣りは可能です。
- ☆モリ・ヤスの使用は禁止です。

○安全について ★詳細 P21～23

- ☆野外活動における安全の確保と体験の充実はしばしばトレードオフ（一方を達成しようとする他方を犠牲にせざるを得ない状況）といった関係となる場合もありますが、事前にリスクを評価し（リスクアセスメント）、実情に即したリスクマネジメントを行うことで、両者をバランスよく実現することが可能となります。野外活動における安全管理は事故を起こさないことだけを目的にするのではなく、安全を確保するとともに質の高いプログラムを提供して体験を充実させることも目指して行きたいものです。指導者側がリスクに対応できるかどうかを見極め、しっかり安全管理を行い、リスクコントロールしながら可能な範囲で無理のない活動を心がけてください。
- ☆午前中はいい天気だったのに午後から急に風が強くなるなど、海の天気は急変することがあります。時には活動を中止することも大切です。天気が怪しい場合は必ずセンター職員に相談しながら安全第一で活動しましょう。
- ☆センター内には医師、看護師はいませんので、医療が必要な場合は坊勢島、家島本島、本土の病院へ行く必要があります。救急時のチャーター船代は学校利用に限り、1回の利用期間中の合計額 20,000 円を上限として当施設が負担いたします。上限を超えた場合は学校負担となります。
- ☆緊急の場合はセンター職員に至急ご連絡ください。センター職員も一緒に対応にあたります。
- ☆緊急の場合は姫路市の救急隊員が坊勢島より救急艇で駆け付けてくれます。なお、当センター中央地区芝生広場は「兵庫県南部ドクターヘリ臨時発着場」に指定されています。

○水道水について



- ☆島で使う水は赤穂から海底送水管で送られてくる水道水ですので安全に利用できます。水も限られた資源ですので大切にお使いください。

○洗剤について

★詳細 P12



- ☆ボディソープ、シャンプー等はセンターで購入するか、各団体でご準備ください。食器、手洗いの洗剤は備え付けのものをご利用ください。海洋汚染を防ぐため、合成洗剤の使用を制限しています。

○ゴミの処理について



- ☆炊飯場横のゴミステーションに分別して捨ててください。燃えるもの・燃えないもの・プラスチック・ペットボトル・アルミ缶・スチール缶・瓶・段ボールなど
- ☆残飯などの生ごみは備え付けのバケツに入れてください。生ごみ処理機で肥料に変えています。



ナイロン袋から
“出して、直接”
バケツに入れて
ください

○施設の利用について



- ☆施設、設備及び備品は大勢の人が利用するものです。大切に扱ってください。
- 万一、故意若しくは重過失により損傷した場合は損害賠償していただくことがあります。
- ☆利用後は会場（場所）や設備、備品の整理整頓や清掃を丁寧に行うようにしてください。
- ☆使い終えた備品は必ず元の場所に戻すようにしてください。

D. プログラムについて

○プログラム制作のポイント

・プログラムの進行、作成は学校側で行ってください。

基本的にプログラムの進行、作成は学校側で行っていただきますが、センター職員に何でもご相談ください。

・目的を達成するためのプログラム制作を心がけてください。

センターのアクティビティにはそれぞれねらいが隠されています。全体の活動の目的を達成するための手段としてアクティビティをご活用ください。

・「6W2H1S」

- ・ Why (なぜ) : ミッション、ねらい、目的、コンセプト、到達目標、学習目標
- ・ What (何を) : キャンプ、自然体験活動、冒険的活動、環境教育、福祉
- ・ Who (誰が) : 主催者、協力、共催、協賛、後援、指導者
- ・ Whom (誰に) : 対象者、人数、年齢、ニーズ、学習段階
- ・ When (いつ) : 日程、時間、期間、回数、頻度、時期
- ・ Where (どこで) : 場所、会場、集合・解散場所、交通手段、使用許可
- ・ How to (どのように) : スケジュール、予算、運営方法
- ・ How much (いくらで) : 予算計画、参加費、補助金、人件費
- ・ Safety (安全は) : 安全管理、救急体制、緊急時体制

・環境に配慮した活動を心がけてください。

当センターは海の世界学習の拠点施設ということもあり、環境に配慮した取り組みやSDGsの取り組みを行っています。是非、環境教育の視点も取り入れてください。

・日程表の必須項目をご参考にしてください。

	初 日	中 日	最終日
午前	姫路港発 センター着 (徒歩移動約 20 分) 入所式 (センター側からは挨拶と オリエンテーションが 10 分程度)	起床 朝の集い (任意) 掃除 朝食 プログラム	起床 朝の集いなど (任意) 朝食 大掃除 プログラム
午後	昼食 ロッジ入室・寝具引き渡し プログラム 16 時からセンターと打ち合わせ	昼食 プログラム 16 時からセンターと打ち合わせ	昼食 プログラム 退所式 (センターから挨拶約 3 分) 離島 (徒歩移動約 20 分)
夜	入浴 夕食 プログラム (21 時まで) 就寝	入浴 夕食 プログラム (21 時まで) 就寝	

※荒天の場合はプログラムを入れ替えていただいても結構です。柔軟に対応いたします。

※雨プログラムの準備もお勧めします。

※入所式・退所式は必ず入れてください。どうしても時間が無い場合はご相談ください。

進行は学校側で進めてください。

体験プログラム紹介

G はセンター指導員がガイド（指導）します。 **G** は一部ガイド（指導）可能。



①カヌー／クリアカヌー

協力 環境学習 有料 **G**

2～4人乗りなので協力して漕がなければ真っ直ぐ進みません。協力する力を育むことが出来ます。また、クリアカヌーは底が覗ける窓が着いているので観察にもご利用いただけます。

○2～4人乗り

ノーマルカヌー：16艇

クリアカヌー（底から海を覗ける）：30艇

協力する力を養う！
海の環境体験！

②カヤック

自主性 環境学習 有料 **G**

1人乗りなので自分の力しか頼りません。自立心を育むことが出来ます。海を間近に感じられ、海の上を滑るように進むので海に親しむことが出来ます。長距離を漕ぎ終わった後の達成感を感じることが出来ます。

○1人乗り

シーカヤック：100艇

自主性を養う！
達成感を味わう！



体力をつける！
人生を学ぶ！
乗船体験を楽しむ！



- ★湾内コース：沖に1km・1時間～
- ★ヨロヤケ島コース：往復約3km・2時間～
- ★野外活動コース：往復約5km・3時間半～
(弁当運搬可能)

センター職員が指導・レスキューボートでサポートします。
安全面には細心の注意を払い実施いたします。

③いかだ作り体験 協力 有料 G

自分たちで竹とフロートをロープで組み合わせて作った筏に乗って海に出ます。作るころから始めるので協力が大切になります。また、ロープワークを学べます。
○7～15人乗り



④地引き網体験 環境学習 協力 食育 有料 G

砂浜に仕掛けた大きな地引き網を力を合わせて引きます。捕れた魚などは調理体験と組み合わせるか、食堂で調理できます。美味しくいただけてください。食育プログラムとしてもご利用ください。



⑤釣り 環境学習 食育 G

どんな魚が釣れるかな？お魚さんと知恵比べ。工夫を凝らし楽しい釣りをして、魚のことを学びます。また、釣りを通して命の大切さを考えます。食育プログラムとしてもご利用ください。竹竿無料。仕掛けエサ持参か購入。



⑥磯観察 環境学習 G

自然の磯浜で海辺の生き物とふれ合うことが出来ます。巻き貝・イソギンチャク・カニなど波打ち際の生き物を観察することが出来ます。



⑦海中探検 環境学習 G

フローティングベストを着て、海の中を観察します。ウニ・アメフラシ・ウミウシなど磯観察とは違った生き物を観察できます。
○箱メガネ30個程度貸出可能



⑧野外炊事 環境学習 食育 G

野外炊事は協力する力、生きる力を育む大切なプログラムです。釣りや地引き網で捕れた魚を無駄なく調理することにより食から考える環境学習、命の大切さについても学ぶことが出来ます。



⑨森の遊び場づくり 協力 有料 G

森の中、ロープで木立にしばりつける竹を組み合わせて、登ったり、くぐったり、ぶらさがったり、いろいろな工夫で遊べる場所をつくります。協働的創作的な活動により相互理解や信頼関係の深まりが期待できます。



⑩クラフト 環境学習 創造力 一部 有料 G

自然の材料を使ってクラフト作り。砂浜の貝殻を使って作る貝殻クラフトが人気です。その他、焼き板などもご用意出来ます。下見時にご確認ください。
○絵手紙など持込みプログラムもOK。



⑪環境学習授業 環境学習 一部 有料 G

アサリの海水浄化実験や漂着物・マイクロプラスチックの調査・クラフトなど海の環境学習授業を行えます。環境学習センターにはプロジェクターなどの設備がありますので持込授業も行えます。タッチプールでは海の生き物と触れ合えます。



その他、広大なフィールドを生かしてオリジナルのプログラムを展開してください。

E. 食事について

○自炊か食堂

当施設の食事は、**完全予約制**の食堂利用か自炊のいずれかのご利用になります。自炊の場合、下記食材セット以外の持ち込みも可能です。当センターの食堂は食材を吟味し、添加物の少ない無着色のものを使用し、すべて手作りの心身にやさしい食事を提供しています。手作りの為、食品アレルギー等にも対応可能です。

※アレルギーの変更食対応は、調査表にもとづいて行いますが、アレルギーの程度により対応できない場合があります。対応できない場合は持参してください。レンジなどで温めることは可能です。

なお、アレルギー対応食の受け渡しは学校担当者により確認をお願いします。

※食事数の変更は随時必ずご連絡ください。

○自炊について



【カレーセット】

牛肉（ばら肉） (50g)
 じゃがいも (60g)
 にんじん (40g)
 たまねぎ (50g)
 カレールー (35g)
 福神漬け (20g)
 サラダ油 (適量)



【焼きそばセット】

豚肉 (50g)
 キャベツ (80g)
 にんじん (10g)
 ピーマン (10g)
 ねぎ (5g)
 そば (1玉)
 粉末ソース (1袋)
 サラダ油 (適量)



【牛肉バーベキューセット】

牛肉 (100g)
 ソーセージ (1本)
 えび (1尾)
 キャベツ (60g)
 たまねぎ (30g)
 ピーマン (半分)
 エリンギ (半分)
 コーン (1切れ)
 タレ・油など (適量)



【鉄板焼きセット】

牛肉（ばら肉） (100g)
 豚肉（ばら肉） (50g)
 ソーセージ (1本)
 キャベツ (100g)
 コーン (1切れ)
 ピーマン (半分)
 にんじん (20g)
 たまねぎ (30g)
 タレ・油など (適量)



【カートンドックセット】

ホットドックパン (1本)
 ソーセージ (1本)
 キャベツ (30g)
 スティック
 ケチャップ (1本)
 ※調理用牛乳パックは持参ください。



【おにぎりセット】

おにぎり (2個)
 おかず (1品)

※写真はイメージです

**※自炊食材のセットに「お米」は含まれておりません。
 ※持ち込みされた食材等を保管するための共同冷蔵庫が
 食堂横に設置してあります。**

※個別に食材の注文販売も可能です。詳しくはお問い合わせください。

○食堂の利用について

□時間

○朝食 7:30 ~ 8:30

○昼食 12:00 ~ 13:00

○夕食 18:00 ~ 19:00

□留意事項

○上記の時間以外の食堂の利用（レクリエーション・学年集会等）は衛生管理上できません。

○時間内に入室から退室までを済ませてください。

○メニューは日替わりです。2週間前頃にお知らせすることが可能です。お問い合わせください。

○持参弁当・夜食・間食は野外炊飯棟をお願いします。

○複数団体が一緒に食堂を利用する場合にはお互いに譲り合ってください。

○手荷物等は衛生上から持ち込まないでください。

○水着やぬれたままの服装、靴での食堂利用はお断りします。

○昼食はお弁当にすることもできます。（※要事前連絡）

○海洋体験活動により中央地区以外で食事をする場合は、弁当を配達することができます。

配達時間は11時30分以降になります。

□食堂利用後の清掃

○食堂を利用した団体は毎食後、食堂内の清掃活動をしてください。

○使用した机の上をふきんで拭いてください。（備え付けのものをご利用ください）

○食堂入口にある清掃道具箱の清掃道具を使い使用した場所の床を掃除します。

※ほうきで掃き、ゴミを捨てる。泥や水などでぬれている場合はモップで拭きます。

※複数の団体が利用している場合、利用団体同士で話し合い、決めてください。

朝食（例）



夕食（例）



※写真はイメージです

F. 寝具について

○貸出し寝具（リネン費必要）
リネン（シーツ、枕カバー）、
シュラフ（寝袋）の3点

○室内常備寝具
敷きマット、毛布、枕



※シーツは袋状になっていますので、
シーツの中に入れてご利用いただけます。



○貸出し寝具の貸出し・返却場所はオリエンテーションルームにて行います。

○最終日の室内常備寝具の片付けは押し入れに入れずに部屋の隅に畳んで置いてください。

○次の利用者のために寝具を丁寧にたたむことによって、次に使う人へ

「思いやりのバトン」を手渡してください。

G. 入浴について

- 入浴時間 16:00 ~ 21:00
- 複数の利用がある場合には、調整が必要です。
- 大浴場を女性が、中浴場を男性が基本的に使用しますが、人数の割合によっては変更可能。
 - ※中浴場は浴槽が大きく、大人6~8人程度。シャワー7。ロッカー 32 箇所。
 - ※大浴場は浴槽が小さく、大人3~4人程度。シャワー 15。ロッカー 24 箇所。
- ボディソープ、シャンプー等はセンターで購入するか、各団体でご準備ください。
海洋汚染を防ぐため、**合成洗剤の使用を制限しています。**
- 成分上使用が難しい場合はご相談の上ご持参ください。
- 各校の指導者の方は、浴室でのマナー等をきちんと指導してください。



		<p>環境配慮のため合成洗剤の入っていない商品を選択しています。 アレルギー等の理由で下記洗剤が使用できない場合はご相談ください。</p> <p>○センターで購入可能な洗剤↓</p>  <p>泡せっけんシャンプー 泡コンディショナー 泡ボディソープ</p> <p>ラベンダー油、ライム油など天然精油などの成分が配合されています。詳細は下記 HP にてご確認ください。</p> <p>SARAYA/arau HP https://www.arau.jp/arau/products/</p> 
中浴場(男性用)	大浴場(女性用)	
		
中浴場(男性用)脱衣場	大浴場(女性用)脱衣場	

シャンプー・リンス

H. キャンプファイヤーについて

- 楽しく思い出深いキャンプファイヤーにするには安全の配慮も必要です。
 - ※火の取り扱いには十分気をつけてください。
 - ※強風・雨の場合は実施していただくことはできません。
 - ※ファイヤー開始後でも風力が増すようであれば中止していただくことがあります。
 - ※マジックファイヤーのような点火方法は事前に実施可能か確認してください。
 - ※開始前に消火用バケツに水を入れてすぐ消せるように準備してください。

日程表に日時をご記入ください	ブッキングした場合は江の浦地区も利用	16時に食堂下に準備します	
灯油 1L/ 組む薪 14 本 焚き付け一輪車 1 盛	各学校で薪を組んでください	必ず火を完全に消してください	

お手伝い可能です

I. センター全体図について

③分岐点より中央地区を眼下に望む



②バイオトイレ



①いえしま自然体験センター棧橋



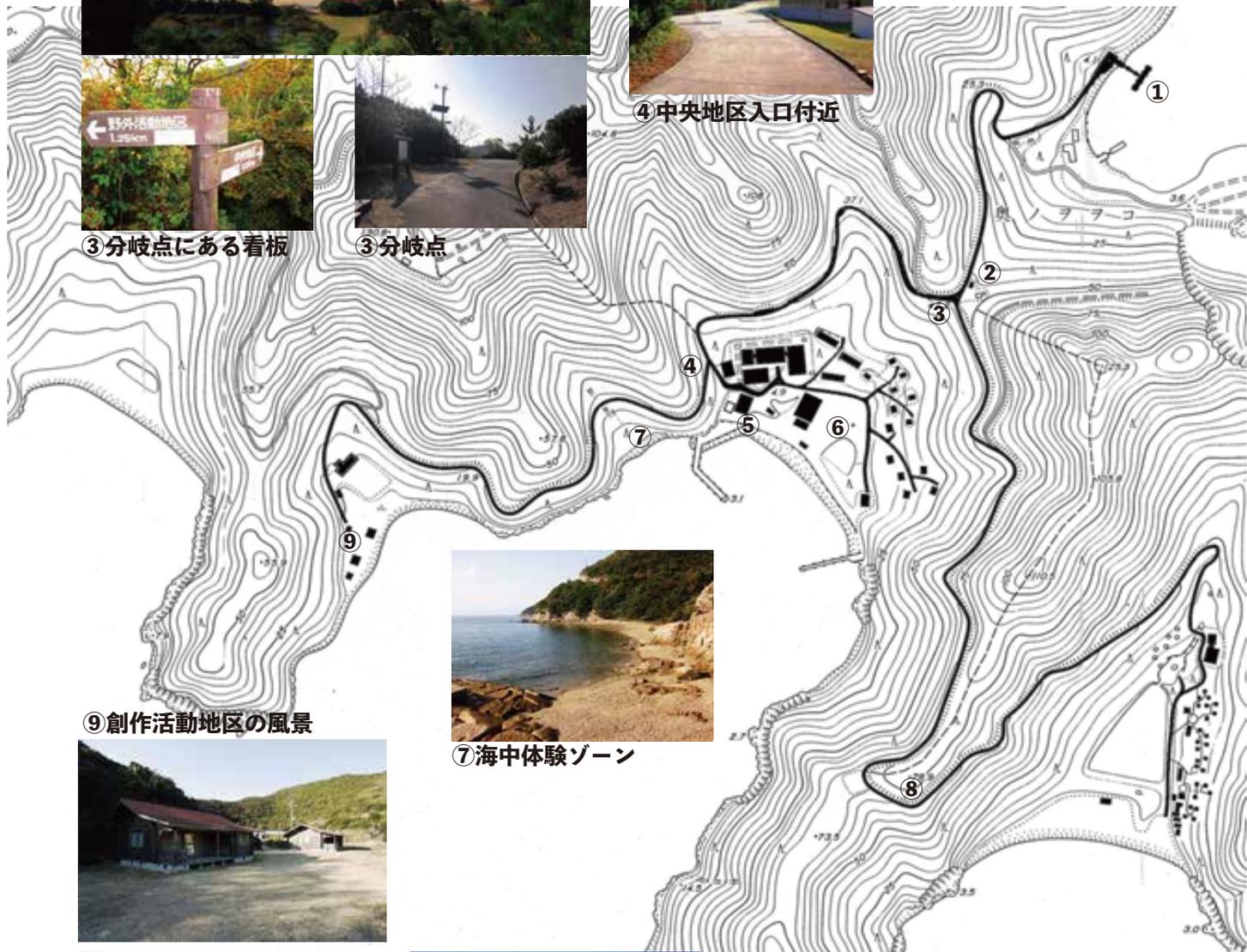
④中央地区入口付近



③分岐点にある看板



③分岐点



⑨創作活動地区の風景



⑦海中体験ゾーン

⑤艇庫前から浜を望む



⑥芝生広場を望む



⑧野外活動地区の浜を望む



J. 中央地区全体図について

環境学習センター



B ロッジ (6人用)



艇庫



A ロッジ (10人用)



C ロッジ (7人用長屋タイプ)



A、B ロッジ階段



管理棟



食堂



食堂内部

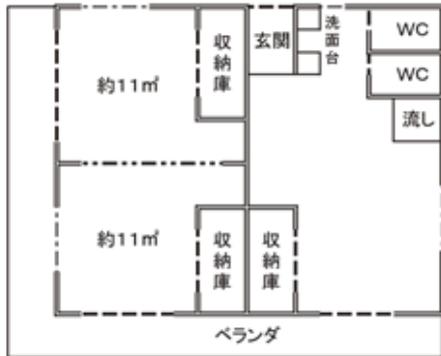


K. 平面図について (1)

中央地区平面図



☆A ロッジ (10人用×7棟) 1棟 55㎡

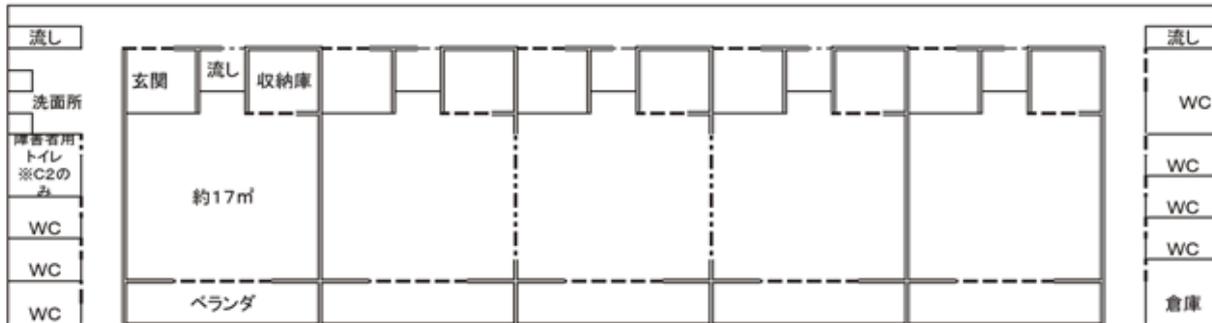


☆B ロッジ (6人用×7棟) 1棟 32㎡

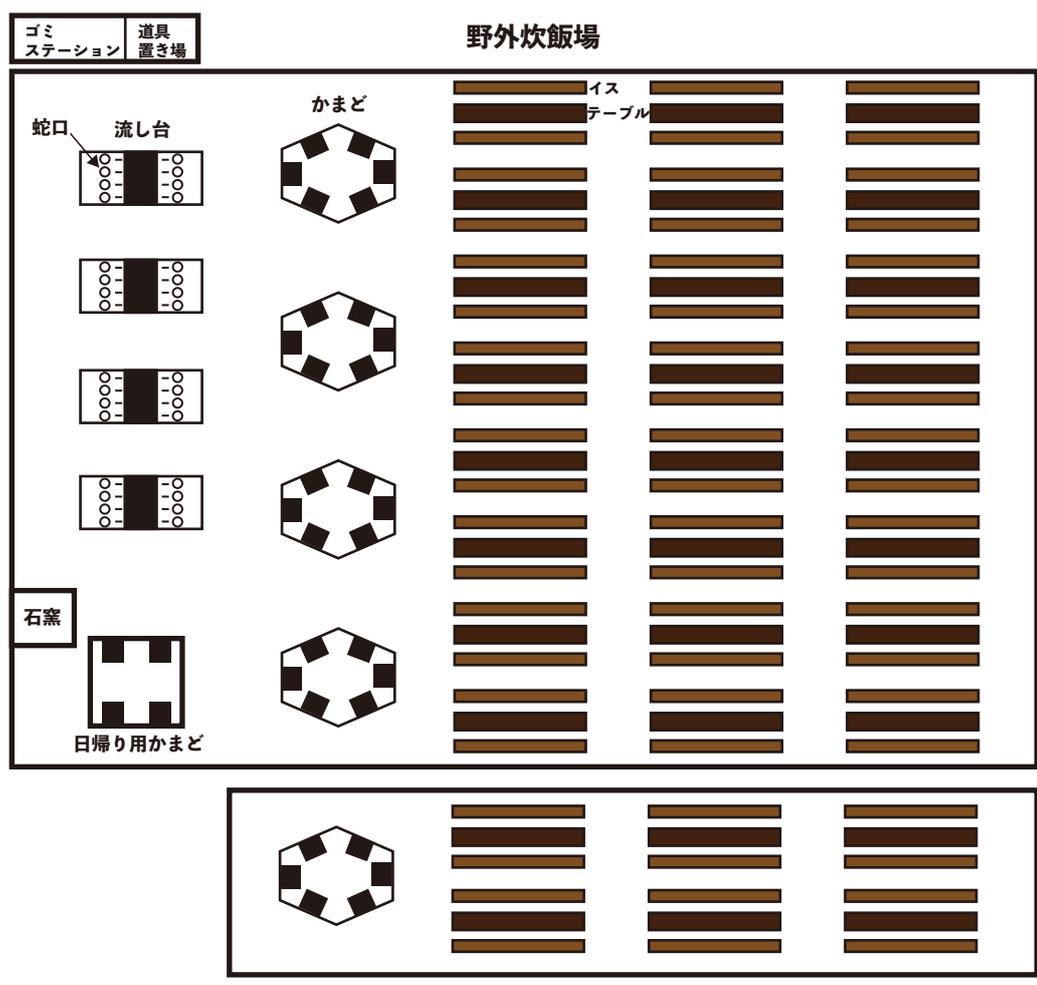


- ※ロッジに備え付けているもの
 ・冷蔵庫・マット・毛布・枕・安全蚊取り器
 ・非常灯・掃除機・ほうき・ちりとり
 ・簡易ベッド(A・Bロッジのみ)
 ・茶器セット
 《夏季》・扇風機
 《冬季》・ファンヒーター・こたつ(Aロッジのみ)
- ※A・Cロッジの
 はずして利用される場合は、取り外すことが出来ます
 元に戻してください
- ※C-2ロッジには身障者用トイレを備えています
- ※各ロッジのインターホンは事務所とつながっています
 緊急の場合のみお使いください

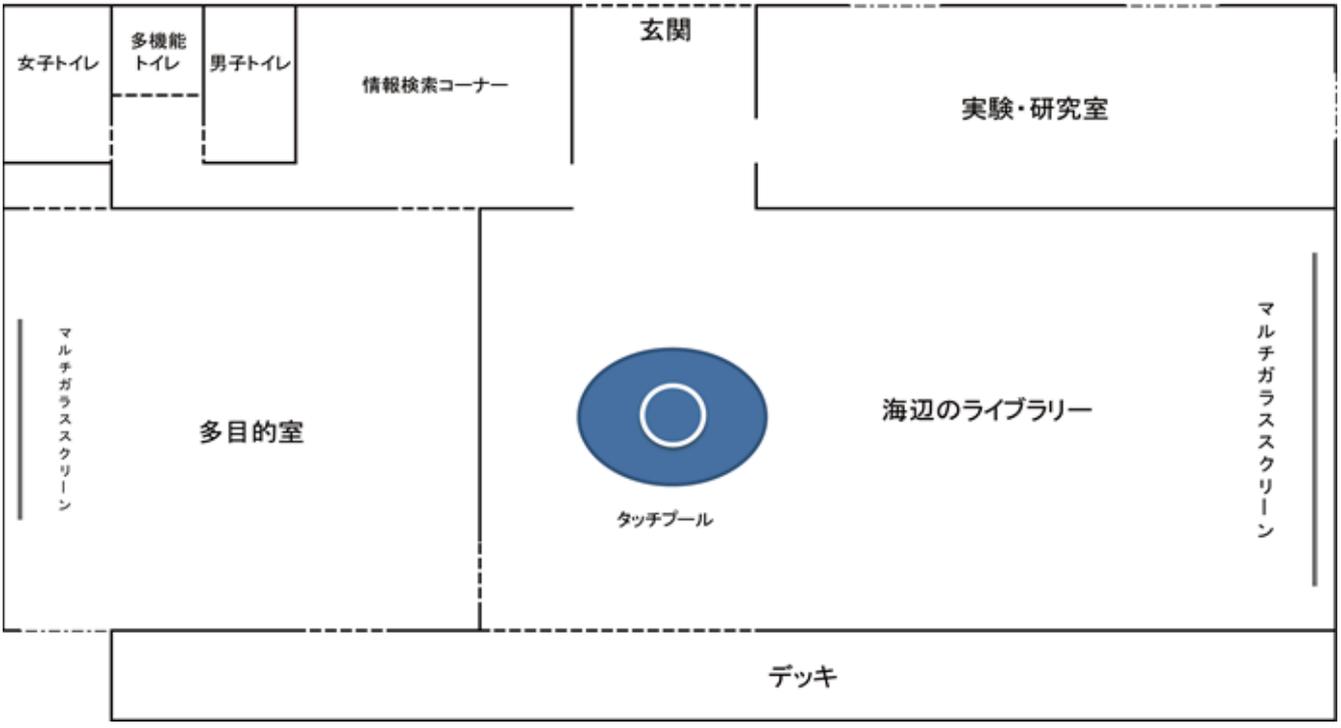
☆C ロッジ (7人用×5室×3棟) 1棟 140㎡



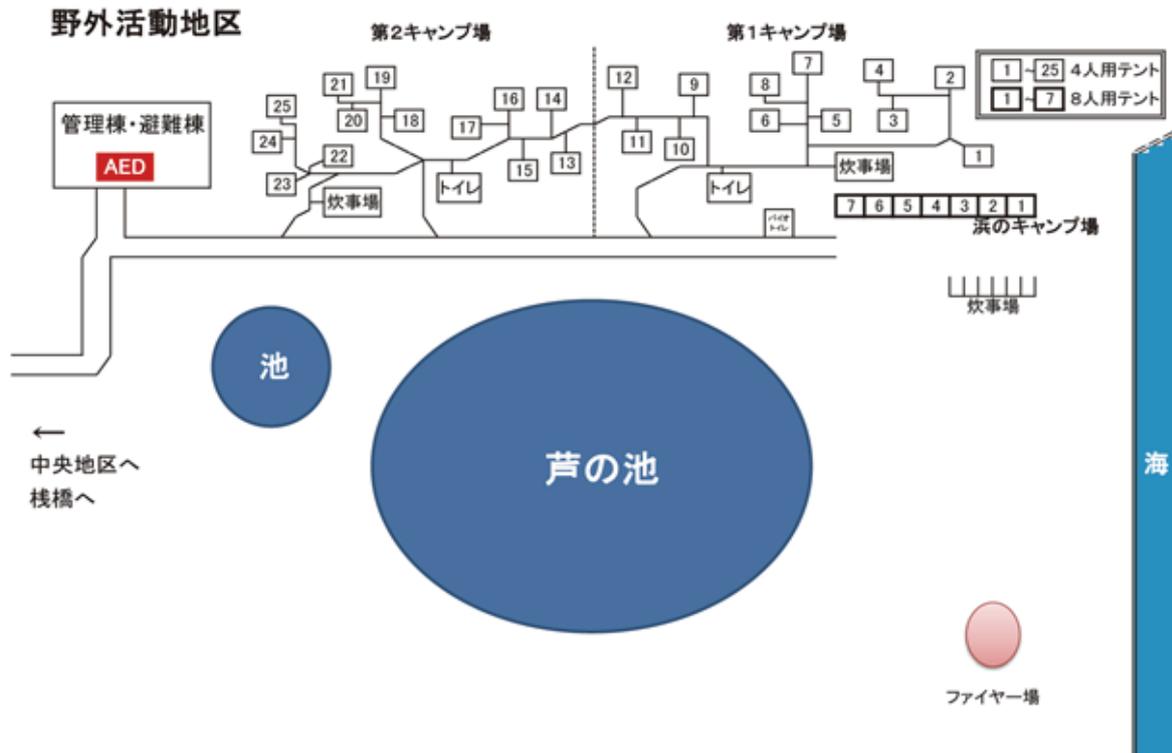
K. 平面図について (2)



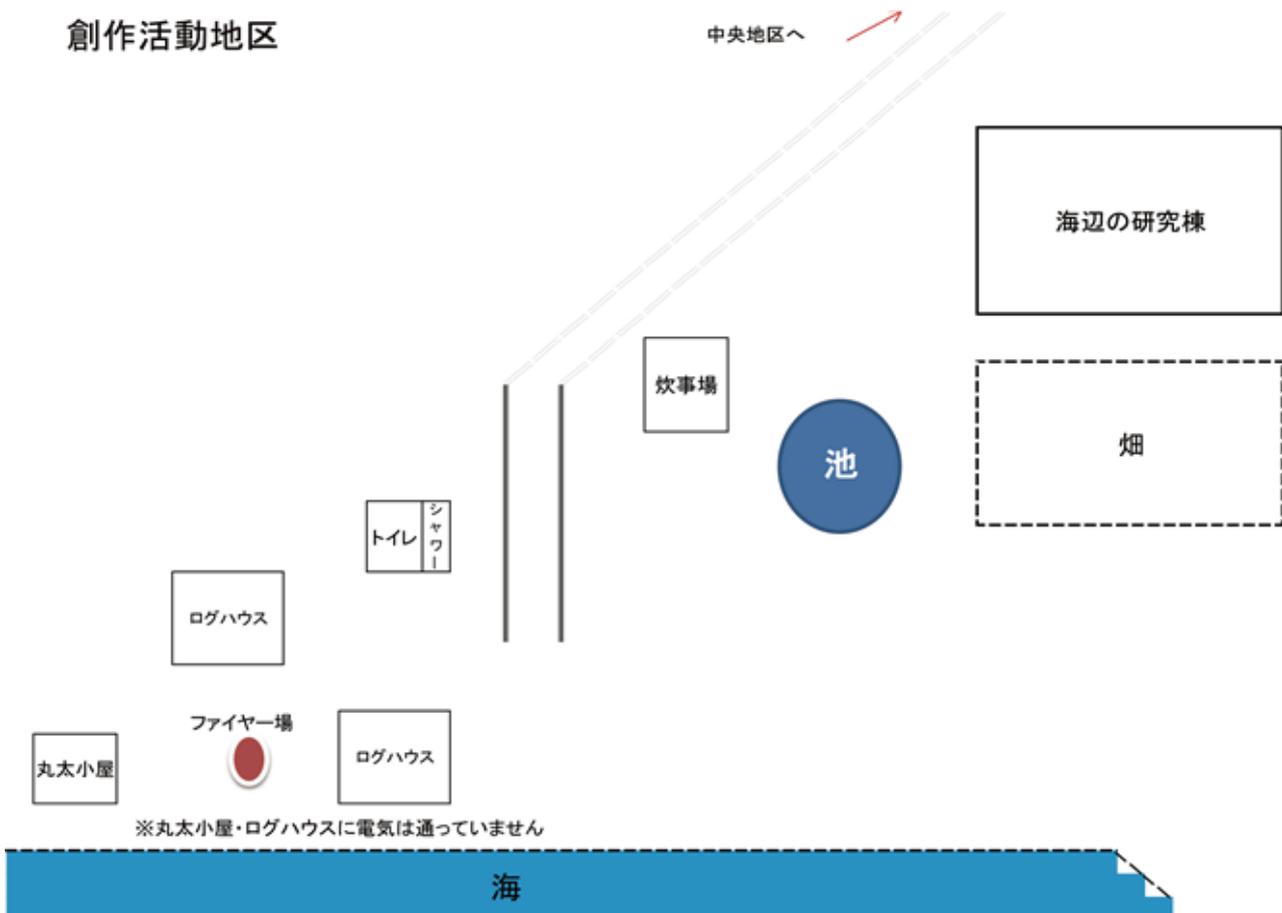
環境学習センター



K. 平面図について (3)



創作活動地区



L. 交通案内について (1)

「いえしま自然体験センター～坊勢」間の連絡船は下記時刻表に従いますが、予約時のみの運行となります。船の時間を許可申請書にご記入いただき、変更の場合には、利用前日の午前中までに「いえしま自然体験センター」(Tel079-327-1508/1509)へご連絡ください。

乗り遅れた場合等は改めてその旨をご連絡ください。

その他 連絡船に関するお問い合わせは船会社へお問い合わせください。

1 姫路港までの交通機関等

○電車・バス(神姫バス「姫路港行き」は20～30分間隔で運行しています。)

JR 姫路駅下車 北口すぐ 神姫バスターミナル ①番のりば「姫路港行き」約20分

山陽電車飾磨駅下車 徒歩5分、飾磨工業高校前 神姫バス停「姫路港行き」約10分

○車(車の「いえしま自然体験センター」乗り入れはできません。自転車、バイクの乗り入れも不可。)

姫路バイパス「中地ランプ」から南へ約10分。姫路港周辺の駐車場(裏面記載)を利用願います。

2 姫路港からの交通機関(連絡船)

※ 下記以外の時刻にも姫路～坊勢島間は運行していますが、いえしま自然体験センターまでお越しになる場合は下記の時刻になります。

3 切符購入・船賃などについて

(令和6年4月より変更)

●姫路港⇄坊勢島航路

姫路港ポートセンタービルの中にある坊勢輝汽船の券売機で坊勢島行きの切符を購入してください。

※ 団体・グループでお越しの際には姫路ポートセンター内の坊勢輝汽船の事務所にて団体券の購入ができます。団体料金の割引はございません。(注)全員が同じ船便に乗船することが必要です。

●坊勢島⇄いえしま自然体験センター航路

船賃については現金払いとなります。坊勢島で乗り換えとなり時間がかかりますので、お釣りが出ないようにお支払いをお願いいたします。不定期便になりますので発着時間に誤差が生じます。

【連絡船時刻表】

姫路港⇄坊勢島間についてのお問い合わせは

坊勢輝汽船株式会社 本社(079-234-1173) 坊勢営業所(080-2436-0065) へお願いします。

※往路(姫路港→いえしま自然体験センター)

便	姫路港発	坊勢着	坊勢発	棧橋着
1	7:20	7:55	8:15頃	8:20頃
2	10:05	10:40	10:50頃	11:00頃
3	13:05	13:37	13:47頃	13:57頃
4	16:05	16:40	16:45頃	16:50頃

※復路(いえしま自然体験センター→姫路港)

便	棧橋発	—	坊勢発	姫路着
1	8:30頃	—	8:55	9:27
2	11:15頃	—	11:50	12:25
3	14:15頃	—	14:44	15:16
4	16:55頃	—	17:15	17:50



【船賃】 大人は中学生以上、小人は小学生

区分	片道		往復		備考
	大人	小人	大人	小人	
姫路港 ⇄ 坊勢島	1,300円	650円	2,600円	1,300円	1歳未満は無料。 幼児(1歳以上6歳未満の未就学児)は大人1人に対して1人は無料、2人からは小人運賃。
坊勢島⇄ いえしま自然体験センター	500円	250円	1,000円	500円	

L. 交通案内について (2)

【チャーター船】大人9名以上はチャーター船をお勧めします。

団体のチャーター船利用も可能です。詳細は下記の船会社へお問い合わせください。

坊勢(ぼうぜ)渡船	(079) 326-0559	輝(ひかり)観光	(079) 325-0444
高福ライナー	(079) 325-1970		

【手荷物料金】



上記以外にも料金が必要となるものがあります。手荷物料金については、変更することがございます。なお、以下の手荷物は運賃がかかりません。ただし1人につき合わせて2個までです。

ミカン箱程度の荷物(缶ビール、ジュース等のケースも同様)、スーツケース、ショッピングカート、ショッピングバッグ(大)、高齢者用カート、酸素ボンベカート、ベビーカー、

手荷物についての詳細は、坊勢輝汽船株式会社へお問い合わせください。079(234)1173

4 船便のご利用についての注意

■手続き

○船便の日時が決まりましたら、センターへご連絡ください。

○団体が使う資材の船への持ち込む量は常識の範囲内をお願いします。

■乗船及び下船

○乗船時間の20分前までに団体担当者は、利用する船会社の窓口にて受付してください。道路渋滞や事故により出港時間に間に合わないと予想される場合、すみやかに定期船の場合はセンターへ、チャーター船の場合は船会社へ連絡をしてください。船会社と確認した変更の内容をセンターへお知らせください。

○参加者の乗船、下船の安全について学校側が最大限の注意を払うようにしてください。

○団体資材の船への積み降ろしは、速やかに終わることができるよう協力してください

■センター棧橋での待機について

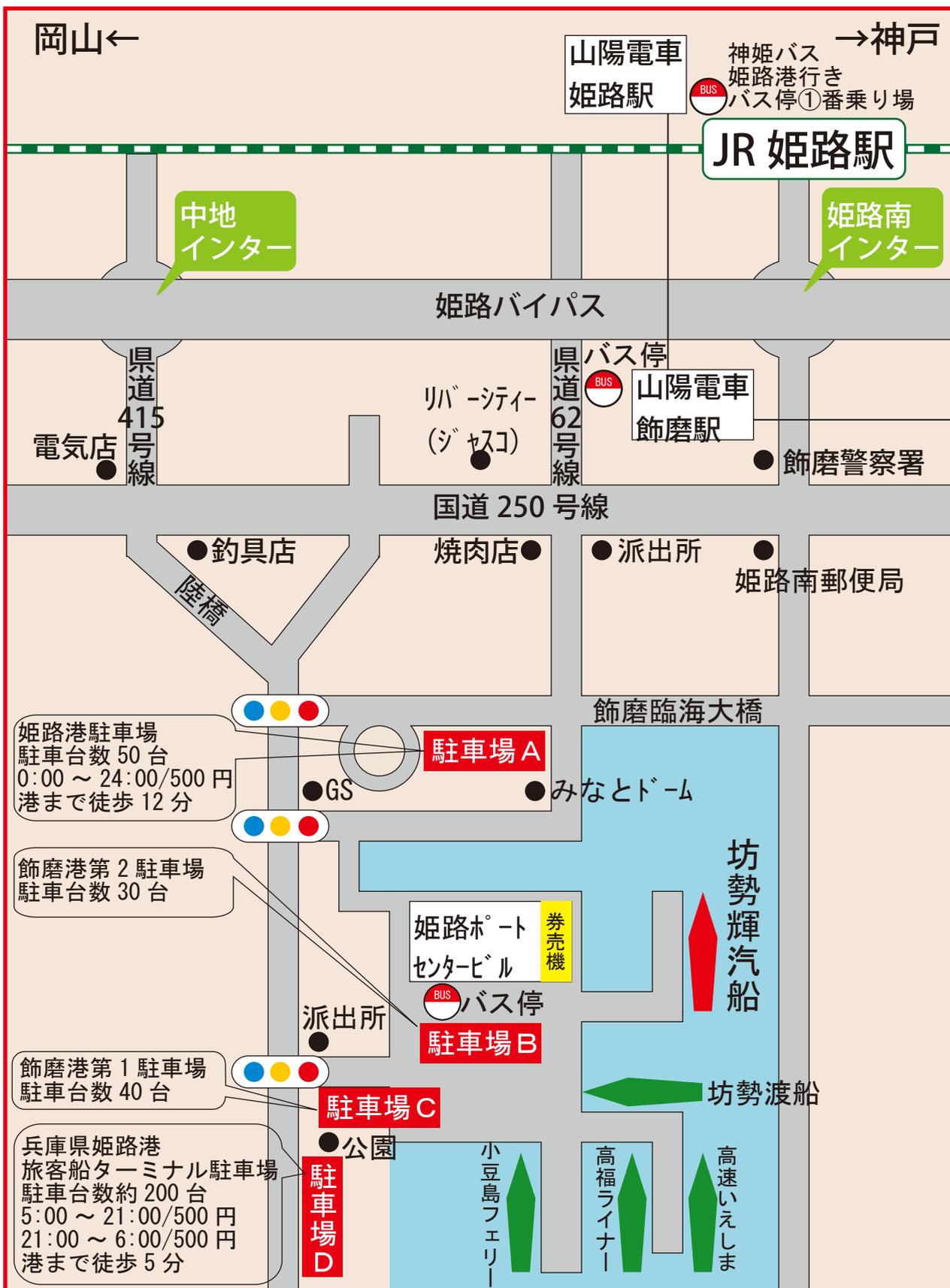
○センター棧橋付近での集合、待機は各団体が責任をもって安全管理を行ってください。

○センター棧橋付近の海岸線で遊び、靴などが汚れたまま船に乗船して困る、という苦情が船会社から寄せられています。「公共のマナー」を各団体でもご指導ください。

L. 交通案内について (3)

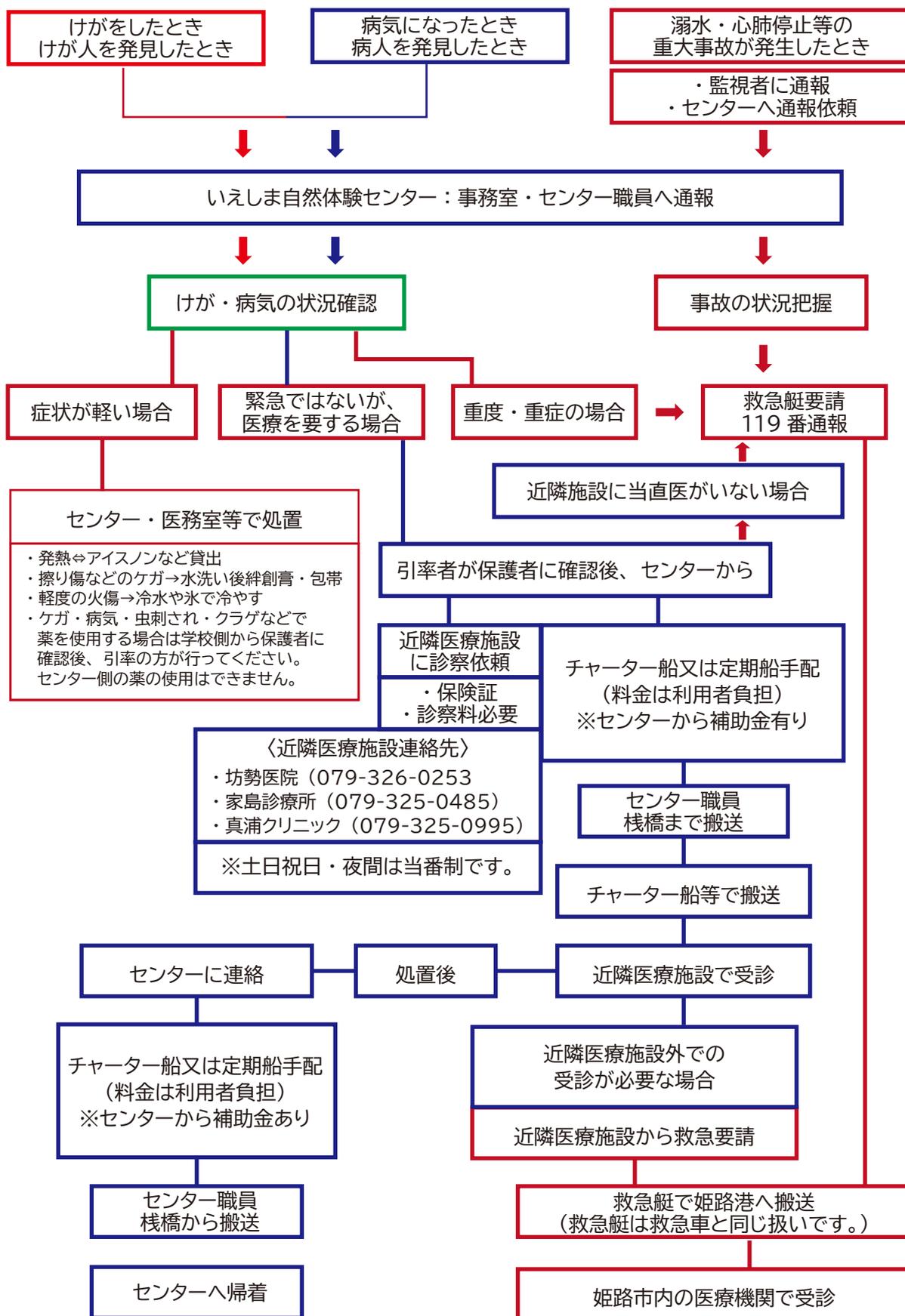
(5) 姫路港付近の駐車関係略図

- 個人用乗用車を姫路港付近で駐車される場合には、地図を参考にして駐車してください
- 夏季の土日は付近駐車場が満車になることもあります。余裕をもってお越しください。



M. 安全について (1)

(1) いえしま自然体験センター「けが・病気・事故」発生時の対応マニュアル



当センターは「兵庫県南部ドクターヘリ臨時発着場」に指定されています。

M. 安全について (2)

(2) 救急医療関連 連絡先一覧

会社／機関	名称	住所／診察時間	電話番号
家島町 医療機関 ※宿直医 土日祝の 宿直医は 当番制で 月ごとに 変わります。 ※夜間診察 が出来ない場 合がありま す。その場合 は姫路市医療 機関へ救急艇 搬送となりま す。	ぼうぜ医院	姫路市家島町坊勢702-238 【診察時間】 9:00～12:00／15:00～17:00 ※受付は終了30分前まで ※木曜・土曜の午後、祝祭日は休診	079-326-0253
	家島診療所	姫路市家島町宮2169 【診察時間】 9:00～12:00／14:00～17:00 姫路市家島町宮2169 ※受付は終了1時間前まで ※土曜・祝祭日は休診	079-325-0485
	真浦クリニック	姫路市家島町真浦字片山2379-1 【診察時間】 月～金曜日 9:00～12:00／14:30～17:30 土曜日 9:30～12:00 ※木曜午後の第2・4週は休診	079-325-0995 受付 7:55～11:45 ／13:55～17:15
姫路市 医療機関	兵庫県立はりま姫路 総合医療センター	姫路市神屋町3丁目264番地	079-289-5080
	三栄会広畑病院	姫路市広畑区夢前町3-1-1	079-230-0008
	姫路医療センター	姫路市本町68	079-225-3211
	姫路赤十字病院	姫路市下手野1-21-1	079-294-2251
	神野病院	姫路市飾磨区下野田2丁目533-3	079-235-5501
	姫路中央病院	姫路市飾磨区三宅2-36	079-235-7331
	入江病院	姫路市飾磨区英賀春日町2丁目25番地	079-239-3121
救急艇	消防		119
チャーター 船会社	坊勢渡船	姫路市家島町坊勢488	079-326-0559

【 渡船代】

	坊勢島まで(片道)	家島本島まで(片道)	姫路(相生)港まで
いえしま自然体験 センター棧橋から	約3,300 円	約11,000 円	約25,300 円

※料金は目安ですので予告なしに変更されることがあります。詳細は各船会社にお問い合わせください。

※22時以降は割増料金となります。23時以降は緊急な処置を必要とする場合のみ利用可能。

※救急時のチャーター船代は学校利用に限り、1回の利用期間中の

合計額20,000円を上限として当施設が負担いたします。上限額を超えた場合は学校負担となります。

M. 安全について (3)

(3)地震・津波発生時の避難マニュアル

じしん つなみ み まもる
地震・津波から身を守るために

◇揺れを感じたら、**建物の中**や**そばから離れて**、**広い所**へ避難し、**芝生広場**に**集合**しましょう。

◇地震が発生すると「**いえしま自然体験センター**」全体に**非常放送**をします。

◇津波警報や注意報が発令されたときは、**放送**をよく**聞いて**

下記の避難場所へ落ちて**避難**してください。

げんざいち 現在地(いまいるところ)	ひなんばしょ 避難場所(にげるところ)	ちずじょうばんごう 地図上番号
ちゅうおうちく 中央地区(ロッジ地区)	ちゅうおうかんりとう 中央管理棟の食堂	①
やがいかつどうちく 野外活動地区(テント地区)	ひなんかんりとう 避難管理棟	②
そうさくかつどうちく 創作活動地区	うみべけんきゅうとう 海辺の研究棟	③



※当センターでは地震・津波等の情報をキャッチする警報装置システムを導入しています。
大きな地震が発生した場合、緊急放送を行います。

* 緊急の避難を要する場合

日中：緊急放送にて避難指示を行うとともに、職員が誘導いたします。

夜間：緊急放送を行うと共に担当の先生のロッジに職員が伺い、素早く児童・生徒を起床させ避難誘導を行います。

避難はセンター職員の指示に従い、迅速に人数確認を行うと共に安全確保にご協力ください

N. 料金表について ※令和7年4月1日現在の学校利用の代金です。

施設利用料	平日	休日前
Aロッジ(10人用)	¥7,400	¥9,250
Bロッジ(6人用)	¥4,650	¥5,800
Cロッジ(7人用)	¥3,200	¥4,000
4人用テント	¥900	
8人用テント	¥1,850	
日帰り	¥200	

アクティビティ	1時間	半日	1日
カヤック	¥250	¥500	¥1,000
カヌー	¥1,000	¥2,000	¥4,000
クリアカヌー	¥1,100	¥2,200	¥4,400

キャンプファイヤー	¥5,000	薪(大)14本、薪(小)一輪車1盛+灯油1L
地引網体験	¥5,000	最大2回(1回目不漁の場合)
筏作り(1日/1艇)	¥3,000	
あさり浄化実験	¥500	
磯観察	無料	

クラフト関係		備考
貝殻クラフト	¥200	その他クラフト有り。要相談
焼き板(195cm×15cm)1枚	¥2,000	希望サイズにカット可能(要相談)。1カット50円

食堂利用(1人あたり)		自炊セット(1人あたり)(お米はついていません)	
食事	料金	セット名	料金
朝食	¥650	カレーセット	¥400
昼食	¥850	焼きそばセット	¥400
夕食	¥1,150	鉄板焼きセット	¥600
		バーベキューセット	¥800
		カートンドッグセット	¥250
		おにぎりセット	¥300

品名	料金	品名	料金
クロワッサン(1個)	¥130	オレンジジュース(パック200ml)	¥180
米(1合)	¥150	アップルジュース(パック200ml)	¥180
ミネラルウォーター(500ml)	¥180	お茶(500ml)	¥180
スポーツ飲料(500ml)	¥180	牛乳(パック200ml)	¥130

備品	料金	備品	料金
シーツリネン費	¥350	釣り 仕掛け	¥350
シャンプー500ml	¥650	釣り 餌	¥350
リンス500ml	¥650	蚊取り線香 3巻	¥100
ボディソープ500ml	¥650		
オガライト13本	¥2,400		
オガライト5本	¥1,100		
オガライト1本	¥330		
炭3kg	¥900		

※料金などは都合により変更することがあります。

